

(別紙4(2))

事業所名 グループホームゆひもや

目標達成計画

作成日: 平成 28年 12月 7日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	一時性、代替性、切迫性の書面や手続きについて全ての職員が理解出来ていない。	身体拘束に対して知識を深めることでお客様に身体拘束をすることの意味を問い拘束防止への職員意識を高める。	年1回の身体拘束の勉強会の中で実際に拘束をするときにはどんな手続きや書面が必要か、どう記録を残すのか等を学ぶ。毎月のチェック表で身体拘束への意識を常に持ち続ける。	12ヶ月
2	33	ターミナルケアを経験した職員が少なくなっている。	ターミナルケアについて理解を深める。	ターミナルケアを経験した職員より体験談やそのときの気持ち等を未経験の職員に伝えることで看取りをする、という心構えを構築していく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。